

2026年(令和8年)
5月21日 木曜日
第2011号

京都自動車新聞



丹波支部 福知山市で総会開く
極東開発 架装メンテパック好調
東南地区整協 城谷会長に聞く
府内保有台数 登録車減、軽自動車増
◀25年度検査台数 直近20年で最多

発行所 京都自動車新聞社 京都市伏見区竹田向代町51-5(京都自動車会館内) 電話(075)672-0552 ファクス(075)682-0205 メール access@kyotojidisha-np.jp https://kyotojidisha-np.jp

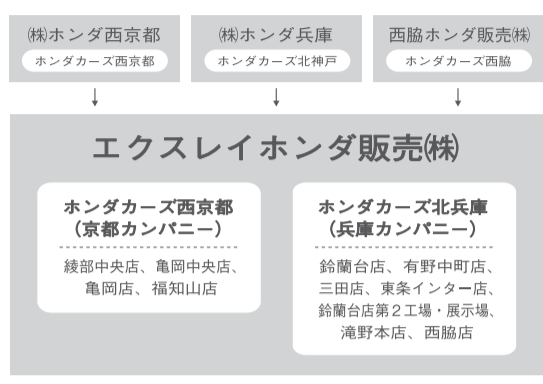
新時代 ⑦ 新社名はエクスレイホンダ販売

ディーラー

西京都、兵庫、西脇の3社が合併

(株)ホンダ西京都(伴仲弘行社長)、(株)ホンダ兵庫(山根一将社長)、西脇ホンダ販売(丸岡広子社長)の3社は、6月1日付で経営統合し、新会社「エクスレイホンダ販売(株)」(伴仲弘行社長、兵庫県神戸市北区星和台1丁目17-1)を発足させる。これに伴い、京都中部から兵庫中部にまたがる広域ディーラーが誕生する。

3社の統合を図りつつ、京都と兵庫で社内カンパニーを設け、それぞれに担当役員を置く。京都カンパニーの屋号は従来通りの「ホンダカーズ西京都」で、所在地はホンダ西京都の本社住所(京都府綾部市高津町宇州6)。



他方、兵庫カンパニーの屋号は、兵庫ホンダの「ホンダカーズ北神戸」と西脇ホンダ販売の「ホンダカーズ西脇」を統合し、名称を「エクスレイホンダ販売(株)」とする。統合一の狙いを伴仲社長は「管理内台数・新車販売台数のボリュームアップで経営の安定基盤を築くことが目的」としている。直近2年間の3社合計の新車販売台数は、年

間3200台程度で推移してきた。今後の市況を考慮して伴仲社長は「コンスタントに最低でも年間3000台を確保できる規模を維持する考えだ」と見通しを立てる。ホンダ兵庫がメインテ

リトリートとしてきた神戸市北部エリアの一部を除いて、3社の営業エリアは中長期的に人口減少傾向にある。他店との競争に打ち勝つべく、統合一による販売力の強化と経営効率の向上に大きな意味がある。また、「人材」採用や後継者育成の面でシナジー効果も期待されている。「3社それぞれの次世代幹部が切磋琢磨し合える環境に身を置いてほしい」と(伴仲社長)との

思惑がある。一方、現場でも互いのノウハウや業務フローを積極的に共有し、今後の展望や後継者育成に関する悩みを共有する中で、「何となく一緒にやってみようか、という話が出たのが3年ほど前だった」と伴仲社長は振り返る。さらに、その1年後には経営統合に向けた意思がより強まり、具体的な計画が動き出すようになった。



京都カンパニーが拠点を置く「ホンダカーズ西京都綾部中央店」

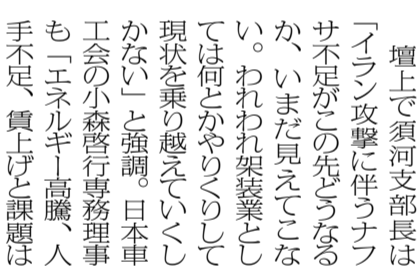
車工会近畿支部が総会で方針

コンプラ徹底が最優先 中東情勢にも警戒示す

架装メーカーらで構成する一般社団法人日本自動車車体工業会近畿支部(須河進一支部長)は4月23日、ホテルグランヴィア京都で第35回総会を開催した。カルテルをはじめとするコンプライアンスを徹底する傍ら、中東情勢に伴う供給不安に対応するとともに、カー

ボンニョートル(CO)排出量を差し引きゼロにする概念)活動に努めるとする事業方針を採択した。支部は昨年度、アルナ矢野特車やジェイ・バス小松工場へ見学に赴いたほか、トラック・バン、特種・バス、特装、トレ

じ熱中症対策、サイバーセキュリティ対応、改正行政書士法、労務費の基準ルールなどに関する協議を重ねた。他支部との連絡会も複数回実施し、運営面で足並みをそろえた。新年度は①環境対策の拡大②不正改竄撲滅③支部会員活性化④研修事業⑤各種部会活動などを推進する。予算は657万円あまり。



また、会員の異動などに伴い岡野政明(オートワークス京都)、山岡剛(新明和工業関西支店)の両氏をそれぞれ役員に就任させた。

壇上で須河支部長は「イラン攻撃に伴うナフサ不足がこの先どうなるか、いまだ見えてこない。われわれ架装業としては何とかやりくりして現状を乗り越えていくしかない」と強調。日本車工会の小森啓行専務理事も「エネルギー高騰、人手不足、賃上げと課題は

また、会員の異動などに伴い岡野政明(オートワークス京都)、山岡剛(新明和工業関西支店)の両氏をそれぞれ役員に就任させた。

壇上で須河支部長は「イラン攻撃に伴うナフサ不足がこの先どうなるか、いまだ見えてこない。われわれ架装業としては何とかやりくりして現状を乗り越えていくしかない」と強調。日本車工会の小森啓行専務理事も「エネルギー高騰、人手不足、賃上げと課題は

また、会員の異動などに伴い岡野政明(オートワークス京都)、山岡剛(新明和工業関西支店)の両氏をそれぞれ役員に就任させた。

壇上で須河支部長は「イラン攻撃に伴うナフサ不足がこの先どうなるか、いまだ見えてこない。われわれ架装業としては何とかやりくりして現状を乗り越えていくしかない」と強調。日本車工会の小森啓行専務理事も「エネルギー高騰、人手不足、賃上げと課題は

また、会員の異動などに伴い岡野政明(オートワークス京都)、山岡剛(新明和工業関西支店)の両氏をそれぞれ役員に就任させた。

一方、ホンダ兵庫と西脇ホンダ販売は、兵庫県ホンダ会での交流があった。西脇ホンダ販売は、全国的な「CS優待」獲得をはじめ、「最優秀販売賞」を複数回獲得するなど、ユーザー対応力に定評がある。ホンダ兵庫のストロン

グポイント「高レベルの管理体制だ」と伴仲社長は分析する。早くから新卒採用を行うなど、採用力と「人材」育成力は3社中トップ。人事だけでなく経理などの部門体制が整っており、経営統合後の本社所在地として、管理機能をメインで担う。

そして、ホンダ西京都は販売力に加えて、メーカーから高評価を得ているサービス部門を核としたバリューチェーンでの収益基盤が最大の特徴。こうした3社それぞれの強みが折り重なり、単純な足し算ではない相乗効果を見込んでいる。

新社名「エクスレイホンダ販売」は、「エクス(X)」「未知」と「レイ(L)」「ハイ」の伝統的な首飾り「歓迎や出会の象徴」の意味を組み合わせたオリジナルワードから成る。

*「追跡データベース」は8面に掲載。

豊富なラインナップ

Japan venture	HITACHI Inspire the Next	TOOLPLANET TECHNOLOGY	AUTEL	LAUNCH	G-SCAN
DT-3300	HDM-9000	Diagnostic Tool TPM-3	MaxiSys Ultra	X-431 PAD VII	G-SCAN 2 Tab

株式会社 大黒商会
DAIKOKUSHOKAI
本社 京都市右京区西院平町10番地 TEL: 075-311-0141
営業所 京都・南・亀岡・舞鶴・福知山・福井・小松・金沢・奈良・彦根